

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス〔葬祭業〕（経営者）	・高齢者の需要はまだ多くあるが、若い人たちの自殺による依頼も混ざっており、悲しいことである。こちらは例外であってほしい。
	○	商店街（代表者）	・2月からは新入生の入学準備用品の販売が始まる。そうすれば荷物もかなり動くようになると思うので、期待している。
	○	百貨店（店長）	・飽くまでも新型コロナウイルス次第ではあるものの、ワクチン接種や天候の影響で、多少経済が回ってくれば上向くのではないかと。ただ、3か月先を予想するのは本当に難しい。
	○	スーパー（副店長）	・近い将来、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、効果が出れば、必ず景気は上向く。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況は厳しいが、感染がやや落ち着いて、上向いてくれれば良いと思っている。なかなか厳しい状態が続いているが、明るい方向に向かっていくような気がする。
	○	乗用車販売店（経営者）	・今年の天候条件等から、新車販売は3月に偏重となりそうである。新型コロナウイルスの感染状況に改善があれば、4月以降も販売数の回復が見込める。
	○	自動車備品販売店（従業員）	・新型コロナウイルスが落ち着いてくるにつれて、再び外出機会も増えると思われるため、やや良くなる。
	○	その他専門店〔酒〕（店長）	・先のことは全く分からないが、今の状態が3か月続いたら大変なことになる。何かしら、新型コロナウイルスの感染が抑えられて、少し人の動きが出てくれば、今よりひどくなることはないのではないかと考えている。今より悪くなる可能性があるとしたら、非常に心配である。
	○	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、ワクチン接種がスムーズに進めば、景気回復に向かうのではないかと。
	○	スナック（経営者）	・現状より悪くなったなら店が潰れるし、現状維持でも半年しか持たないので、良くなってもらわないと困る。新型コロナウイルスのワクチン接種と並行して、経済対策も最優先でしてくれないと、飲食店は生きていけない。頼むから営業補償をしてくれないか。
	○	観光型旅館（経営者）	・3月には緊急事態宣言も終了していると予想される。現状は0%の状況なので、さすがにこれよりは良くなる。人の動きは出てくると考えるが、緊急事態宣言明けとなるので、活発な動きは考えられない。例年の30%程度にとどまると思われる。
	○	都市型ホテル（支配人）	・海外では新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、国内でもワクチン接種の動きが出てきている。依然としてインバウンドには期待できないが、緊急事態宣言の解除とGo To Travelの再開となれば、宿泊にも明るい兆しが見えてくるのではないかと。
	○	タクシー運転手	・新型コロナウイルスのワクチンが出回って、世間が回復してくるのを希望している。
	○	観光名所（職員）	・現在、スキー場は閑散としており、周辺宿泊施設はほとんどが休業している状態である。観光事業で成り立っている当地は、既に限界に近い。観光シーズンの到来と新型コロナウイルス感染の多少の落ち着き、Go Toキャンペーンの再開等の可能性を切望している。
	○	遊園地（職員）	・引き続き、新型コロナウイルスの影響が懸念されるが、感染予防対策の徹底と、ホームページ、メルマガ、SNS等で積極的に情報発信と話題作りを行うことで、集客につなげたい。
	○	ゴルフ場（経営者）	・2～3か月後は、新型コロナウイルス対応型ビジネスへの転換とその支援策が進んでいると信じている。
	□	商店街（代表者）	・とにかく、新型コロナウイルスのワクチン接種が始まらなければ、先が見通せない。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍で生活様式も変わり、そうした生活にも徐々に慣れつつあるなか、消費者の動向は読みにくい。良くなっていく要素が見当たらない。
	□	一般小売店〔家電〕（経営者）	・新型コロナウイルス禍で世間全体が沈んでいるような気がする。

□	百貨店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染がもう少し収束してこない、外出も減るし、外食産業はもちろんだが、一般小売業も大変厳しい。
□	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス次第で、状況が刻々と変化するため、先が見えない。
□	スーパー（経営者）	・到底、良くなるようには感じられないが、ワクチン接種の効果で新型コロナウイルス感染拡大がなくなれば、景気は良くなる。
□	コンビニ（店長）	・今月は年末年始をまたいだが、新型コロナウイルスにかなり慣れて癖がついたような状況で、巣籠り傾向が大分強くなってきている。ぱっと買って帰って、ずっと家にいるという形で、外に出てこない状況が定着しているような気がする。この先も今と変わらない。
□	衣料品専門店（経営者）	・先の予測ができない。
□	家電量販店（店長）	・景気の低迷が解消していない。政府の地方への対策が必要だと思う。
□	一般レストラン（経営者）	・ワクチン接種が始まって、急な動きは出ないとみている。
□	スナック（経営者）	・地方でもじわじわと新型コロナウイルス感染者が増えてきている。当店の近くで感染者が出た途端、一気に人の流れが減って、更に暇になってしまっている。正直なところ、いつまでこんな状態が続くのかという気持ちである。根本的に新型コロナウイルスが解決しない限り、しばらくこの景気が続きそうである。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言が解除されても、すぐに良い方向には向かわないのではないかと。現段階で予約は全く動いておらず、進捗状況は非常に悪いので、この悪い状況が続くとみている。
□	都市型ホテル（スタッフ）	・緊急事態宣言が解除されない限りは、企業は全く動かない。2月は新年会、3月は歓送迎会等があるものの、法人需要のマインドが全く上がらない。
□	通信会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染の収束がみえないなかで、先が全く見通せない。厳しい状況がしばらく続く。
□	通信会社（社員）	・飲食や観光業界を中心に復調の兆しがなく、全体的に無駄な支出を抑える傾向は変わらない。様々な業種に影響は出ており、より安価なサービスへ人が流れる懸念がある。
□	設計事務所（経営者）	・抱えている仕事も継続しながら、数か月先の仕事の予定も入っている。
□	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルスに伴う企業業績の悪化や個人の収入減少が、より明確になる。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスが落ち着いても、すぐに元どおりになるわけではない。
▲	スーパー（経営者）	・失業率の上昇や家計所得の減少から消費は鈍化し、競争激化が心配される。
▲	コンビニ（経営者）	・まだ、新型コロナウイルスの影響があるため、やや悪くなる。
▲	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス禍のため、やや悪くなる。
▲	一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスが死滅しない限り、同じ事を繰り返すだけだと思う。皆がその繰り返しにどこまでついていけるだろうか。
▲	旅行代理店（副支店長）	・国の施策や新型コロナウイルスの感染状況に大きく影響される。国の支援が開始され、感染拡大の終息の見通しが付かない限り、同じことの繰り返しだと考えると、景気の良しあしの判断はできない。ただし、現在の低迷状態を見る限り、景気上昇はない。
▲	ゴルフ場（経営者）	・緊急事態宣言後、県外からの来場者は激減している。しかし、県内の高齢客は元気に来場しているため、予約数は変化していない。
×	コンビニ（エリア担当）	・Go Toキャンペーンもなくなり、新型コロナウイルスのり患率が上がってくる可能性も高いので悪くなる。
×	その他レジャー施設〔ボウリング場〕（経営者）	・緊急事態宣言の再発令で、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くことを期待する。ワクチン接種も始まっていくだろうが、優先順位の低い我々一般の接種はまだ先なので、厳しい状態はしばらく続く。
◎	金属製品製造業（総務担当）	・業界は好調で、良くなる。

関連 (甲信越)	○	食料品製造業（営業統括）	・ 2～3か月先には新型コロナウイルスのワクチン接種も始まり、感染状況もかなり改善されるのではないかと。人の動きやワインの消費も改善してくると思われる。
	□	食料品製造業（総務担当）	・ 3か月先の新型コロナウイルス禍の収束状況は不明だが、当社は繁忙期であり、新製品投入によるてこ入れで相殺して維持を図りたいと考えている。
	□	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ 受注予想が立たない。ワークショップ展開もしているものの、新型コロナウイルスの収束がみえなければ、入っている予約すらあてにならない。過去最低の事業内容である。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・ 数か月前と比べて受注は増えているものの、例年に比べると、まだ少ない。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・ 新規受注が減少している。
	□	建設業（経営者）	・ 以前の受注残もあり、小口工事だが新規受注も少しずつ出てきている。ただし、本格的な景気回復はまだ先だと思われる。
	□	金融業（調査担当）	・ 当社の調査では、企業の景況感の見通しは製造業では改善するものの、非製造業では再び悪化が広がる見通しとなっており、二極化が鮮明になる。
	□	金融業（経営企画担当）	・ 新型コロナウイルスのワクチン接種状況等により、好転することも考えられるが、現状では先の見通しは暗いと言わざるを得ない。
	□	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・ 春になり人が外出する時期ではあるが、新型コロナウイルス感染拡大やワクチンの効果等、まだ不明な要素が多い。現状のまま経済活動や人の流れが抑えられてしまうと予想される。
	▲	一般機械器具製造業（経営者）	・ 取引先の調達状況次第で、受注減少のリスクがある。
	×	食料品製造業（製造担当）	・ 緊急事態宣言が延長されれば、一層大変さが増し、会社の存続が厳しくなる。
	雇用 関連 (甲信越)	◎	—
○		—	—
□		求人情報誌製作会社（経営者）	・ 新型コロナウイルスの感染が減少しないなか、先行きは不透明である。
□		職業安定所（職員）	・ 行動制限が厳しくなかったことで、結果として経済のダメージは少なくなっている。
□		職業安定所（職員）	・ 製造業等では増員求人が目立つことから、改善している印象がある。一方、飲食、宿泊を中心に先行きが見通せない業種もあり、全体としては変わらない。
□		職業安定所（職員）	・ 新型コロナウイルスが長引くと思われるため、変わらない。
□		民間職業紹介機関（経営者）	・ 求人は増えつつあるが、正社員求人が停滞している。パート、アルバイト等で乗り切ろうという企業の姿勢が目立ち始めている。
▲		人材派遣会社（営業担当）	・ 駅前でも空きビルが増えている。新型コロナウイルスの影響も含め、まだまだ悪くなる。
×		*	*